

「私」らしくあるために

中札内中学校一年 高山 紗希

皆さんは、「私」らしさと聞いて、どんな

「私」を思い浮かべますか。

現在地球上には、八十億を超える「私」が

います。皆、等しく地球上に存在する「私」

です。国籍も違えば、年齢も違い、何不自由

なく生活している人もいれば、貧困にあえい

でいる人もいますでしょう。それぞれ環境や状

況の違う「私」が存在し、それぞれ「私」ら

しさがあります。

しかし、「私」らしく生きることが出来て

いる人は、どのくらいいるのでしょうか。

洋服などを買う際、『バズっている』『人

気です』と言われると、不思議と安心感があ

り、間違いないかなと買ってしまうかもしれ

ません。ところが、街中で同じ服を着た人を

見かけると、気まずさ感じます。

それは、周りからどう見られているかを気

にしているからではないでしょうか。自分に
自信がなく、『ダサくないかな』『似合っ
ているかな』と気にするあまり、周りの
センスに合わせちゃっていいんです。
私たちは日頃から、周りの目を意識して生
活しています。周囲から自分らしさを求めら
れた時、それに応えようと思います。ただ私が
思う「私」らしさと、周囲が思う「私」らし
さは、必ずしも同じとは限りません。その場
合、応えようとすればするほど、そこに苦し
さが生まれます。周囲が思う私らしさは、時
に期待や思い込みが入ります。そこから外れ
ると、失望されてしまうことがあります。
そうしないためにまずは、自分自身がどう
したいか、どうありたいか考え、気づくこと
が大切ではないでしょうか。
そして、先入観にとらわれず相手を知る努
力が必要だと考えています。さらに、様々な
価値観、文化があることをまだまだ知らない
自分に気づくことも必要だと考えます。

その気づきによって、「私」が周囲の人間の立場になった時、期待や思い込みといったフィルターを外し、相手にとっての「私」らしさを認めることで、寛容な心で相手と向き合うことが出来るのではないでしょう。それが巡り巡って、私自身の私らしさを守ることに繋がるのでないかと思います。